

# Ja-Net

July 2018 No. 86

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2018年7月25日発行

- View from the Other Side ..... 3  
王亦皇さん(中国)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4  
東京都 江東区
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5  
韓国 議政府市
- 教材紹介 ..... 6  
『ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級1  
—日本語初級1大地準拠—』/『同 初級2』  
『日本語類義表現と使い方のポイント  
—表現意図から考える—』
- なんでも情報 BOX ..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭  
寄稿

## 〈日常会話〉のためのコミュニケーション能力



上智大学言語教育研究センター／大学院言語科学研究科 教授

清水 崇文

### 日本語学習の動機

近年、日本語学習者の背景の多様化に伴い、日本語を学習する目的も多様化してきたと言われています。しかし、多くの学習者にとって、日本語を学習する主な目的はコミュニケーション能力の習得ではないでしょうか。特に日本に滞在し、普段の生活で日本語を使う必要に迫られている学習者にとって、「日常生活において、日本語を話す人たちを相手に日本語でコミュニケーションができるようになること」が日本語を学習する動機の一つであることは間違いないでしょう。

### コミュニケーション能力

では、日本語学習者が習得しなければならないコミュニケーション能力とは、どのよ

うなものでしょうか。バックマンとパーマーは、コミュニケーション能力の中心である言語知識は、言葉の形のルールに関する知識(構造的知識)と言葉の使い方のルールに関する知識(語用論的知識)から成るとしています(Bachman & Palmer, 1996)。

構造的知識とは、容認可能な文を産出、認識するための発音、文法、語彙などの言語形式の知識(文法的知識)と、そうした文を組織化して談話を作りあげる談話構造の知識(テキストについての知識)のことです。一方、語用論的知識は、言語形式と機能の関係の知識(機能的知識)と言語形式と社会的・状況的文脈の関係の知識(社会言語学的知識)を指します。

機能的知識は、私たちが言語を使って自分の意図を伝えることを可能にします。み

なさんは英語で依頼をするときに Can you ...? という表現が使えることを知っていると思いますが、この言語形式(Can you ...?)と機能(依頼)の対応関係についての知識があるから、テーブルの端にある塩を取ってほしいときに“Can you pass me the salt?”と言って意図を伝える(依頼をする)ことができるわけです。

社会言語学的知識は、私たちが社会的・状況的文脈(会話の場面や相手)に照らして適切に話すことを可能にします。先ほど Can you ...? は依頼に使えると述べましたが、どんなときでも使えるわけではありません。例えば、英語のネイティブ・スピーカーの学生は、先生に推薦状を依頼するときに“Can you write a recommendation letter?”とは言わないでしょう。なぜなら、社会的・

状況的文脈(目上の相手に対して負担を与える依頼をする状況)に照らして言語形式(Can you ...?)が適切ではないと判断するからです。

このように、「Can you ...? は依頼に使える」という知識(機能的知識)と「Can you ...? は目上の人に大きな負担をかけるときには使わないほうがよい」という知識(社会言語学的知識)の両方が備わることで、はじめて「社会的・状況的文脈に照らして適切に自分の意図を伝える」ことができるわけである。

### コミュニケーションの目的

コミュニケーションには、「情報伝達」と「対人関係調整」という二つの目的があります(Brown & Yule, 1983)。伝達される情報には、事物や出来事に関する客観的な情報だけでなく、話し手の意図や思考、感情などの主観的な情報も含まれます。言葉によって依頼や断りなどの意図を伝えること(「発話行為」と呼ばれます)も、情報伝達です。言語形式と伝達意図の対応関係の知識である機能的知識は、情報伝達に欠かせないものなのです。

一方、「対人関係調整」とは、相手との良好な社会的関係を築くことをいいます。言葉によって相手の気持ちに対する配慮を示すこと(「ポライトネス」と呼ばれます)は、良好な関係を築くための手段の一つです。言語形式と社会的・状況的文脈の対応関係の知識である社会言語学的知識がこうした柔軟な言葉の選択を支えています。先ほどの例を使って示せば、先生に“Can you write a recommendation letter?”と言うことによって、情報伝達の目的は達成できますが、対人関係調整の目的は達成できていないということになります。

### 日常会話とは

冒頭で「日常生活において(中略)日本語でコミュニケーションができるようになること」が日本語学習者の学習動機の一つだと述べました。では、「日常生活における会話」とはいったいどのような会話でしょうか。私たちが「日常会話」と呼んでいるものは、2種類に分けられます。

一つは、日常生活を滞りなく営むために必須の会話です。交通機関を利用する際の会話、買い物やレストランで食事をしたりす

る際の会話、郵便局や銀行、病院などを利用する際の会話、アルバイトで必要な会話などがこれに当たります。こうした会話の特徴は、会話をするにより達成する課題があること、いわば「課題遂行会話」です。「依頼」「申し出」「提案」「誘い」「謝罪」「感謝」「同意」「反対」「断り」などの機能を果たす会話とも言えます。

もう一つは、周りの人たちと行う日常のなげないおしゃべりです。趣味や衣食住に関する話題、今日の出来事や過去の経験、将来の予定、共通の知人や有名人の噂話、時事ニュースなどについてのおしゃべり、つまり「雑談」です。雑談には、課題遂行会話のように会話が終わった時点で達成すべき課題がありません。そのため「くだらないおしゃべり」と捉えられがちですが、実は大切な効能があります。それは「当事者間にラポール(信頼関係や心が通い合った状態)を生み出すことによって、良好な人間関係を育み、社会の潤滑油の働きをする」ことです。

先に挙げたコミュニケーションの目的の観点から見ると、課題遂行会話は情報伝達(意図の伝達)中心の会話です。しかし、意図の伝達だけを重視すると、課題自体は遂行できたとしても相手との関係が悪くなったり、場合によっては課題の遂行自体が失敗に終わってしまいます。そのため、対人関係調整(相手との良好な社会的関係の構築)も考慮に入れる必要があります。一方、雑談は、相手との良好な社会的関係を築くことを主な目的として行われる会話です。

### 日常会話は易しいか

ところで、みなさんは日常会話は易しいと思いますか。「せめて英語で日常会話ぐらいできるようになりたい」という人は、「日常会話」は比較的易しいと認識している人です。しかし、この場合、「日常会話」が指しているのは、道を聞いたり、買い物をしたりするときの会話、つまり課題遂行会話のことでしょう。

一方、日常会話の大部分を占める(私たちは一日に6時間も雑談をしているそうです(Dunbar, 2010))雑談がある程度自由にできるためには、かなりのコミュニケーション能力が必要です。ACTFL-OPIでは、友人とタメ口で雑談ができるのは「超級」レベルとされているくらいです。日常会話は、決して学習が容易な会話ではないのです。

## 日常会話のためのコミュニケーション能力を育てる

日本語教育では、初級の段階から「道を尋ねる」「レストランで注文する」「医者に病状を伝える」といった課題遂行会話が扱われています。日常生活の課題遂行会話の習得は日本で暮らすために必須ですから、早い段階から学習するのは理にかなっていません。ただ、これまでの指導は機能的知識に重きが置かれていたように思えます。「対人関係調整」の側面にも配慮して、社会言語学的知識の習得も目指した指導が必要でしょう。

また、課題遂行会話ができることは日本で生きていくために最低限必要ですが、周りの日本人たちと良好な社会的関係を築けるだけの雑談力を身につけることは日々の暮らしで感じる「幸福度」を上げることに直結します。日常のコミュニケーションで対人関係調整の目的が果たせるようになることを目標に、課題遂行会話や雑談の仕方を学べる授業が増えていけばよいと思います。

### 参考文献

- Bachman, L. F., & Palmer, A. S. (1996). *Language testing in practice*. Oxford: Oxford University Press.  
Brown, G., & Yule, G. (1983). *Discourse analysis*. Cambridge: Cambridge University Press.  
Dunbar, R. (2010). *How many friends does one person need?: Dunbar's number and other evolutionary quirks*. Cambridge, MA: Harvard University Press.

### 清水 崇文(しみず たかふみ)

上智大学言語教育研究センター/大学院言語科学  
研究科 教授

ロンドン大学大学院応用言語学専攻博士課程修了  
主な著書に『中間言語学概論 第二言語学習者の  
語用論的能力の使用・習得・教育』『みかけ!コ  
ミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブ  
ラッシュアップ日本語会話』(単著)スリーエーネッ  
トワーク、最新刊は『日本語教師のための 日常会話  
力がグーンとアップする雑談指導のスズメ』(共著)  
凡人社、『コミュニケーション能力を伸ばす授業づ  
くり-日本語教師のための語用論的指導の手引き  
-』(単著)スリーエーネットワーク、『雑談の正体-  
ぜんぜん“雑”じゃない、大切なコミュニケーション  
の話-』(単著)凡人社

## 学習者の目

# View from the Other Side

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## 弦楽器専門の工房で研鑽を積む

職人の王亦皇さんに聞きました。

### —なぜ日本に留学しようと思ったのですか。

2010年は上海万博で、場内を走る電気自動車の走行状態をチェックするオペレーターを務めていました。しかし、この仕事は自分の性に合っていると思えませんでした。また中国の外に目を向けたい気持ちもあり、隣国日本への留学を決めました。

### —楽器修理の道へ進路を決めたきっかけは何だったのでしょうか。

22歳のときにチャルダッシュ（ハンガリーの民族舞曲、ヴァイオリン独奏曲）の力強い演奏動画を見て、衝撃を受けたんです。「この格好いい曲をいつか弾いてみたい!」と思い、ヴァイオリンの練習を始めました。当時は楽譜も読めませんでしたが、練習を積み重ねるうちにヴァイオリンが一番の趣味になりました。

日本語学校卒業後は大学に進学するつもりでしたが、「自分は何がやりたいのか」よく考えてみると、やはり一番はヴァイオリンでした。ですが、演奏家になるのは非常に難しいので、ESP学園音楽専門学校のヴァイオリン製作科に進学しました。2年コース修了後は、研究科でさらに1年、修理の技術を学びました。工房IL VIOLINO MAGICOで働きはじめたのは学校の先生が推薦してくださって、アルバイトを始めたのがきっかけです。

### —就職して1年経ったということですが、正社員になってどうお感じですか。

アルバイトのときはデータ入力や、楽器のクリーニングが主な仕事でした。正社員になってから、お客さんの大切な楽器を預かり、修理・調整を担当するようになりました。非常に責任が重い仕事だと感じています。また、仕事を始めて感じたのは専門学校と工房では、求められる技術のレベルが格段に違うということです。研究科で過ごした1年で、自分の技術も大きく伸びたと思いますが、プロの職人としてお客さんの要望に応えら



### 王亦皇（おう・えきこう）

中国上海出身、30歳。2012年来日。アークアカデミー新宿校で学んだのち、ESP学園音楽専門学校で弦楽器制作と修理の技術を修める。専門学校在籍時に日本語能力試験N1に合格。現在、東京渋谷区の弦楽器専門店IL VIOLINO MAGICOにて中国語を活かした国際業務と、楽器修理・調整をこなす職人として勤務。

れるように、さらに技術を磨かなければいけないと思います。

### —仕事では実際にどのようなことを行っているのですか。また、仕事で気を付けていることなどがあれば教えてください。

音色の調整を行う際には、「もう少しやわらかい音にしてほしい」、「もう少し暖かい音色にしたい」のようにお客さんから依頼されます。この場合、ヴァイオリンでは表板と裏板を支える「魂柱」という柱の位置を変える作業を行います。魂柱は0.1ミリ動いたただけでも音色が変わってしまいますから、調整には繊細な技術と判断力が必要になります。ですから、まず「お客さんが求めている音」はどんな音か理解するために話をよく聞き、コミュニケーションをとることを心がけています。また、仕事については「妥協をしない」ことが大切だと思います。職人の意地にかけて「もっときれいに、もっと丁寧に仕上げ

られるはずだ」と思ったら、はじめから作業をやり直すこともあります。

### —詳しい聞き取りが大切ということですが、日本語での対応は大変ではありませんか。

専門学校では周りは皆、日本人学生で、授業もちろん日本語でした。聴く力・話す力がないと授業についていくのも大変です。楽器や音楽の専門用語もたくさん出てきますから、わからない言葉は一生懸命メモを取って、先生やクラスメイトに聞いたり、家に帰って調べたりしました。お客さんへの対応は簡単ではありませんが、日本語学校での勉強の他に、専門学校で鍛えられた日本語力が役に立っていると思います。

### —音色の調整は難しそうですが、はじめからうまくできたのでしょうか。

仕事を始めた頃は、自分の調整した音がお客さんにとって「いい音」になっているのか自信がありませんでした。要望に応えられず、調整が2度やり直しになったこともあります。難しい仕事ですが、その分お客さんが喜んで楽器を受け取ってくれたときは、何より嬉しいです。

### —今後の夢や目標があれば教えてください。

チェロは入社してから扱い始めた楽器で、まだまだ修行が必要です。プロフェッショナルとして、将来は会社で扱っている楽器ならなんでも、お客さんの要望にかなう修理、調整を行えるようになりたいです。

### —最後に、日本語を学ぶ後輩へのメッセージをお願いします。

日本語学校ではどうしても同じ国の人と母国語で話してしまったり、試験の勉強で手一杯になってしまったりします。ですから、それ以外のところで日本の人と日本語で交流して、日本語を聞く力・話す力をつけて欲しいと思います。その経験はきっと、進学先や就職先で皆さんの役に立つと思います。





## 国内編

東京都 江東区



## 多文化共生を団地から — 「UR コミュニティにほんご教室」

武蔵野大学  
村澤 慶昭

## 江東区「大島六丁目団地」

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて特に湾岸地域の開発が進む江東区では、人の動きも活性化しています。公開データによると「外国人登録者数・外国人住民数」は、平成29年1月1日現在で26,077人、外国人登録者の割合は5.1%に達しました。また国籍も116カ国と多岐にわたっています。

このように、「生活者としての外国人」の存在が「普通」の状態となってきている江東区では、大規模団地でも外国ルーツの居住者が増えています。平成28年春、その団地を管理する株式会社URコミュニティの支援企画室より、団地内における年少者向け日本語教室開室の可能性についての打診がありました。当時も私は江東区文化センターの日本語ボランティア養成講座を担当していましたので、講座修了生にご活躍頂く場所のひとつとして、また区内各所の日本語教室を繋ぐ存在として平成5年に結成された「江東にほんごの会」との連携等々を考え、コーディネーターをお引き受けしました。

現在この教室が開かれているのは、UR都市機構の大規模団地のひとつ、江東区「大島六丁目団地」です。この団地は昭和45年3月より管理が開始されていますが、総戸数2,892戸のうち、現在、外国籍・外国ルーツと考えられる居住戸数は全体の約12%（およそ320世帯、650人程度）に上ります。国別にみると、概ね中国(6.0%、320人程度)、インド(2.7%、140人程度)、韓国(1.5%)、フィリピン(0.5%)といったように多様化も進んでいるようです(URコミュニティ概算)。

そのような環境下で開かれている日本語教室ですので、①大規模団地内で開設され

ている点、②場所の提供・運営が管理会社URコミュニティより無償でなされている点、③地域日本語ボランティアネットワークと連携している点、に大きな特徴があります。

## 「UR コミュニティにほんご教室」のようす

まず平成28年度は、3シーズン(4～6月、10～12月、1～3月)各6回、計18回、原則第2、4木曜日の夕方1時間の枠で開室されました。支援対象年少者は当該団地に居住する4歳から12歳までの9名(中国、インド)、支援者の日本語母語話者ボランティアは4名でスタートしました。

平成29年度は、対象年少者14名、支援者6名の体制に拡充しましたが、3年目となる本年度は、対象年少者の枠を19名まで広めたものの、口コミで評判を聞いた参加希望者がその後も増えて、現在はひとまず新規募集を停止しているような状況です。

支援内容は、あいさつ、ひらがな・カタカナの読み書きや日常生活のことばなどの初歩的な日本語にとどまらず、日本文化や習慣・風習なども紙芝居やカルタ、歌などの遊びの要素を通じて学べるように、ボランティアの方々が創意工夫をこらしてくださっています。

また、地域柄もあり、インターナショナルスクールに通うインドのお子さんの割合が増えてきていますので、漢字圏や日本の学校に通う年少者とは違ったアプローチが求められるようになっていきます。

## 支援の目標と課題

この支援は、1. 互いに居住ルールを守りよりよい生活者となることを、まずは年少者への日本語支援を通して行うこと、2. 地域日本語ボランティアネットワークのひとつの拠点にすることを目標としています。

また、URコミュニティでも、「外国人と



団地の会報にも取り上げられました

日本人の共生を育みながら、コミュニケーション・安心感の醸成」「新たなコミュニティ形成を通じた居住トラブルの減」「自治会と連携した団地内ミクストコミュニティ形成への取り組みのひとつとして活用」のための支援として位置づけています。

この支援は、団地自治会の会報にも数回取り上げられ、また団地内の「秋のフェスティバル」に対象年少者たちが参加して日本語の歌を披露するなど、居住者への教室の周知や居住者間の親睦が図られているところが注目されます。

ただ、この取り組みはマンパワーも必要であるため、教室の持続的運営や団地内での協力者の確保が今後も必要となります。さらには当該地域の日本語教室、小学校日本語支援との連携や日本語母語話者の団地内住民、地域住民との交流促進などのほか、他のUR団地等における同様の「にほんご教室」の開催も次へのステップの課題として、検討を始めています。

ご関心のある方は、ぜひ一度「UR コミュニティにほんご教室」へお越しください。

(協力：株式会社URコミュニティ コミュニティ推進部 支援企画室)



日本語ご紹介

海外編

韓国 議政府市

## 一生使える日本語を身につけて欲しい 韓国の日本語教室から



ナウォン先生の日本語教室

教室代表 金寶華

ワーキング・ホリデービザで日本へ行ったのは2003年の夏。その時はカタカナが全部は書けないくらいの日本語レベルでした。来日後は日本語学校から日本の大学に進み、日本で就職しました。10年後の2013年の夏、韓国に帰って日本語教師になりました。現在、韓国の議政府市で「ナウォン先生の日本語教室」を運営しています。

## ナウォン先生の日本語教室

私が日本語教師になった当時は、東日本大震災の影響もあり、韓国では日本に旅行することも恐れていた時期でした。また中国語学習のニーズが高まっていたので、日本語のニーズがあるのか、この仕事が続けられるかどうか不安でした。ところが、いざ日本語を教え始めてみると、日本に興味を持って、熱心に勉強に取り組む若者が予想以上に多かったのです。しかし、日本へ行く前の私同様に日本語能力試験を重視し、肝心の日本語でのコミュニケーションを二回に考えている生徒も多くいました。試験対策など目の前の課題に振り回され、時間が経っても同じレベルに留まっている生徒が多いことにも、もどかしさを感じました。そして、試験合格だけを指すのではない、自由に生徒たちと接する空間を作りたいという願いから自分の教室を開きました。

教室は日本でいう塾のようなものです。交通の便がいいところにワンルームを借り、机を6つおいて教室を始めました。ブログをはじめ、ホームページを制作し、教室の情報をネット上に載せました。毎日教室の様子や出来事などもブログにアップしました。そして徐々に問い合わせが増え、生徒が教室に来るようになりました。



「ナウォン先生の日本語教室」の生徒たちと



家庭的な雰囲気の教室

最初は10人足らずの人数で始めましたが、今は50人の生徒が学ぶ教室になりました。夕方6時から1時間ずつ、定員4人のグループレッスンと1対1の個人レッスンがあります。こぢんまりとしていますが、温かみのある教室を目指しています。この教室で何よりも重視していることは、生徒の立場で考えること、生徒に必要な日本語が学べるようにすることです。そのためこの教室に入学する前には、長い時は1時間以上、じっくりと相談の時間をとっています。今までどのように日本語を勉強してきた、これからどうしたいのか、試験を受けたい生徒にはその目的や活かし方をどのように考えているのかなどを聞いて、その人に合った方向性を提示したり、場合によっては別の学校を紹介することもあります。自分の話に耳を傾けてくれるこの教室が気に入った生徒が、生徒を呼ぶ形で少しずつ規模も大きくなり地域の中でも知られるようになってきました。

## 学習動機はさまざま

生徒は下は小学校5年生から、上は60代の方までいます。学習動機としては、中高生の場合は日本のアニメーションやゲームが好きだったり、ほかには日本旅行がきっかけで「日本でもっと自由に行動したい」、「日本では英語が通じなかった。だけど、また

行きたいので言葉を覚えたい」などの理由の生徒も多いです。日本の大学や専門学校への進学希望で勉強し始める生徒もいます。そして、英語は苦手だけれども日本語ならできるかもしれないと思い教室に来る生徒などもいます。外国語ができるのは就職の際、仕事選択の幅に直接影響します。とくに日本は隣国ですし、語順が同じであることもあり、そのような理由で日本語を勉強する生徒もいます。

## 一生使える日本語を目指して

最初は与えられた勉強だけしていた生徒が、日本語に関する質問をしてきたり、日本旅行の土産話や、前は聞こえなかった日本語が聞こえた、食堂のメニューが読めたと話す時は、やりがいを感じます。また、ほかの人から生徒の話す日本語を褒められると私まで嬉しくなります。そして、ここに集まる生徒の共通点はたったひとつ「日本語」です。この教室にいる、みんなの日本語を通してお互いにプラスの影響を与えながら共に成長できる空間になればと思っています。この教室では一生使える日本語を身につけて欲しいです。そして覚えた日本語を活かして、それぞれのフィールドで活躍することを願っています。

# 教材紹介

## 『ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級1 —日本語初級1 大地準拠—』 / 『同 初級2』



中村かおり・伊藤江美・梅津聖子・牧野智子・森泉朋子 著  
B5判 136頁 別冊8頁(予定) 1,200円+税 8月発売予定/10月発売予定



### スモールステップで「漢字がわかる」を積み重ねる

拓殖大学外国語学部 准教授 中村かおり

この本は、非漢字圏の学習者を対象に、日本語能力試験N5・N4レベル(旧4級・3級)の漢字の読み方、書き方を、少ない負担で学習できるように工夫された、漢字のワークブックです。漢字を語彙として導入し、知っている言葉の漢字を練習していくことで、漢字学習へのモチベーションを保てるようになっています。

#### 特徴(1) 語彙による漢字の学習

N5・N4レベルの漢字語彙の読み方を学習した後、漢字の書き方を練習するというスモールステップで学習します。また、1課あたりの語彙数は13～18語程度、漢字数も6～8字程度ですので、非漢字圏の学習者でも無理なく学習が進められます。各課の語彙は、『日本語初級1(初級2) 大地 メインテキスト』と『日本語初級1(初級2) 大地 文型説明と翻訳』で使われているものです。これらのテキストと合わせて学習すると、既習語彙の復習をしながら漢字学習も同時にできるので、より少ない負担で、効率的に学習できます。

#### 特徴(2) N5・N4漢字を網羅

「初級1」と「初級2」を合わせて、N5・N4レベルの漢字300字を網羅しています。「初級1」ではそのうち160字を学ぶことができます。また、練習問題は日本語能力試験と同様の形式になっており、試験の出題形式に慣れさせることができます。

#### 特徴(3) 漢字の学習ストラテジー

漢字学習では、目にした漢字を一つずつ覚えていく方法は効率的ではありません。形の意味や読み方のルールを考え、相互に関連づけながら取り組むと、学習が進めやすくなります。本書では、必要な知識を一度に詰め込むのではなく、学習段階に応じて少しずつ「漢字のストラテジー」を学ぶことで理解を深めます。漢字の形/意味/読みのシステム等を理解することで、漢字学習が楽しくなります。

#### 本書の構成と使い方

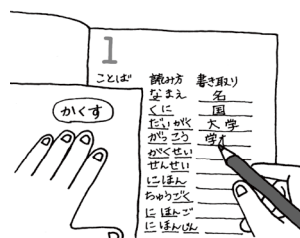
本書は、以下のような構成になっています。

##### ●漢字のストラテジー(全4回)

##### ●1課～22課

- ①ことば
- ②読み方
- ③書き取り
- ④やってみましょう
- ⑤書き方練習

##### ●各課クイズ・まとめクイズ



1課～22課の練習では、まず、「①ことば」の意味を確認します。それから「②読み方」を見て、漢字のことばを読めるようにしましょう。教室で、教師が「①ことば」のフラッシュカード(ウェブサイトからダウンロードできます)を使って練習するのも有効です。十分に読めるようになったら、「⑤書き方練習」のページを使って漢字を書く練習をします。最後に、「③書き取り」や「④やってみましょう」で、書いたり読んだりできるようになったか確認します。この順序で練習することで、読み書きともスムーズに定着させることができます。

「漢字のストラテジー」は、漢字の理解を深めるために、学習の進度に合わせて使えます。「各課クイズ」や、数課ごとにまとめた「まとめクイズ」は、テストとして使用することができます。

「漢字語彙を見てすぐ読み方と意味が浮かび、それを正確にきれいに書く。その学習を繰り返しているうちに、N5・N4レベルの語彙と漢字の読み書きがいつの間にか身についていた。」本書はそんな教材を目指しました。非漢字圏の学習者のみなさんに、漢字を勉強するのは楽しいと思ってもらえることを期待しています。



# 『日本語類義表現と使い方のポイントー表現意図から考えるー』

市川保子 著

A5判 690頁(予定) 2,400円+税 9月発売予定

元東京大学留学生センター教授 市川保子

## 《本書の位置づけ、および使用対象者》

日本語学習者、日本語教師、日本語教師を目指す方、日本語に興味のある方のための、「日本語類義表現」の使い分け・使い方の解説書です。

日本語学習レベルは、中級・上級を想定しています。

## 《本書の特長》

いくつかの似た表現「類義表現」がある時、話し手は何を基準にそのうちの一つを選ぶのでしょうか。

本書は「類義表現」の選択の基準を、話し手の表現意図(話し手がどうとらえ、どう表そうとするかという思いや考え)に重点を置いて整理したものです。

話し手は多くの場合、次のような基準で表現を選択していると思われる。

- (1) 主観的に表すか、客観的な事柄として表すか。
- (2) 話し言葉的な表現を選ぶか、書き言葉的な表現を選ぶか。
- (3) 伝え方の丁寧さの度合いをどうするか。
- (4) 相手にはっきり伝えるか、曖昧に伝えるか。
- (5) その事柄をプラスのこととして表すか、マイナスのこととして表すか。

その他にも「その事柄を実現性が高いこととして伝えるかどうか」「慣用的な表現を使うか使わないか」などいろいろ考えられます。

本書は従来の文法的な解釈にとどまらず、話し手の表現意図から「類義表現」とらえようという新しい試みの解説書です。

## 《本書の構成》

第I部と第II部からなり、第I部は「類義表現」の使い分けについて、第II部は「類義表現」の使い方のポイントをまとめています。44課の構成です。

「類義表現」は次のように機能別に分類しています。

主題、意志、願望、義務、推量、伝聞、許可、助言、経験、誘い出し、依頼、指示・命令、感情(好き、嫌い、驚き、喜び、悲しみ、感謝、謝罪など)、変化、経験、とき、条件、原因・理由、目的、逆接、対比、比較、比例、並列・例示、無関係、付加、比喩、立場、前置き、敬語など

## 《課の構成》

### 第I部

#### ・モデル会話：

「類義表現」を丁寧体と普通体の対話形式で提示、比較。

#### ・説明：

それぞれの表現を意味、機能、表現意図から説明。

#### ・比較のポイント：

その課で取り上げた「類義表現」を表現意図別に表で比較。

#### ・まとめ会話：

その課で取り上げた「類義表現」をまとめた会話の流れの中で提示。

#### ・否定の場合：

その課で取り上げた「類義表現」が否定で使えるかどうかの考察。

### 第II部

・第I部全44課に出てきた「類義表現」に説明と例文を付け、表現ごとに使い方を簡潔にまとめ、整理。

## 《本書の使い方》

授業では、中級・上級向けテキストとして、また、復習・まとめ用テキストとして使うことができます。少人数・多人数のクラスに対応できます。また、個人の自習用教材としての使用も可能です。

学習者は、

- ・これまでに学習したよく似た表現「類義表現」を、形式的・意味的にだけでなく、話し手の意図の違いとしてとらえることができます。
- ・比較の表によって、「類義表現」の使い分けを視覚的に、わかりやすく理解、整理することができます。
- ・提示された複数の会話を通して、「類義表現」を実際の会話ですぐに使うことができます。
- ・表現意図を学ぶことによって、日本人の考え方、日本語のとらえ方をより深く知ることができます。

### 丁寧体

- 1) A: Bさん、仕事、辞めるんです。  
B: ええ、こういう状況では、  
a 辞めざるを得ません。  
b 辞めないわけにはいきません/いきません。  
c 辞めないで/辞めずに [すみません/すまないんです]。  
d 辞めなければならぬ。  
e 辞めたほうがいいでしょう。

### 普通体

- 1) A: Bさん、仕事辞めるの？  
B: うん、こうなったら、f 辞めざるを得ないよ。  
g 辞めないわけにはいかない [よ/んだよ/のよ]。  
h 辞めないで/辞めずに [すみません/すまない] [よ/んだよ/のよ]。  
i 辞めなければならぬ。  
j 辞めたほうがいだろう。

### 比較のポイント

「認め」

|             | 客観的事柄 | 話し言葉 | 書き言葉 | 丁寧さ | 曖昧さ | 実現性 | 慣用 |
|-------------|-------|------|------|-----|-----|-----|----|
| ～ざるを得ない     | ○     | ○    | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| ～ないわけにはいかない | ○     | ○    | ○    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| ～ないで/辞めずに   | ○*    | ○    | △    | ○   | ○   | ○   | ○  |
| ～なければならぬ    |       |      |      | ○   | ○   | ○   | ○  |
| ～ほうがいい      |       | ○    |      |     |     | ○   | ○  |

\*人が「認め」を表現するとき、「認め」の原因を外的(社会的)なものとして表現するか、内省的に自分の心の問題として表現するかが1つの基準となる。  
\*外的な要因から来る「認め」表現には、「～ないわけにはいかない」「～ないで/辞めずに」がある。  
\*内省的にとらえる「認め」の表現には「～ざるを得ない」「～ほうがいい」がある。「～ざるを得ない」の場合。



# なんでも情報 BOX

## Books ほん

すべて本体価格です

|                                     |         |            |
|-------------------------------------|---------|------------|
| ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級1-日本語初級1 大地準拠- | 8月発行予定  | 1,200円     |
| 日本語類義表現と使い方のポイント-表現意図から考える-         | 9月発行予定  | 2,400円     |
| いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級3            | 9月発行予定  | 2,400円(予価) |
| ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級2-日本語初級2 大地準拠- | 10月発行予定 | 1,200円(予価) |
| 新完全マスター漢字 日本語能力試験N4                 | 10月発行予定 | 1,200円(予価) |

## Seminars

### セミナー

#### コミュニケーション能力を伸ばす授業づくり

～学習者が適切に自分の意図を伝えられるようになるために～

講師：清水崇文(上智大学言語教育研究センター／大学院言語科学研究科 教授)

日時：9月15日(土) 14:00-16:30 (受付開始 13:30)

会場：愛日会館(大阪府大阪市中央区本町4-7-11)

対象：日本語学校、専門学校、大学で日本語を教える方

定員：80名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

#### 作ってみよう！明日から使える教材アイデアワークショップ ～『みんなの日本語』対応：地域日本語教室向け～

講師：村澤慶昭(武蔵野大学 教授)

内容：第1部 地域日本語教室で『みんなの日本語』を使って教える

第2部 教材作成ワークショップ

日時：9月22日(土) 13:00-16:00 (受付開始 12:30)

会場：弘済会館 会議室「萩」(東京都千代田区麹町5-1)

対象：地域日本語教室で日本語を教えている方

定員：150名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：1,000円

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』

主催：スリーエーネットワーク

#### 日本語能力試験N3合格のための語彙指導

『新完全マスター語彙 日本語能力試験N3』を使って～

講師：伊能裕晃(東京学芸大学留学生センター 特任准教授)

日時：9月29日(土) 14:00-16:00 (受付開始 13:30)

会場：TKP 仙台カンファレンスセンター ホール2A

(宮城県仙台市青葉区花京院1-2-3 ソララガーデンオフィス2階)

定員：80名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

共催：丸善仙台アエル店・スリーエーネットワーク

#### 中級からはじめるビジネス日本語指導のポイント

『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語-就活から入社まで-』を使って～

講師：村野節子(武蔵野大学 非常勤講師)

日時：10月6日(土) 14:00-16:00 (受付開始 13:30)

会場：弘済会館 会議室「菊」(東京都千代田区麹町5-1)

対象：教育機関で「ビジネス日本語」や「就職指導」に携わる先生

定員：90名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

#### 『日本語初級 大地』を使った初級日本語の教室活動-授業の進め方と漢字指導-

講師：町田恵子(元(公財)アジア学生文化協会)

中村かおり(拓殖大学外国語学部 准教授)

内容：第1部 『日本語初級 大地』の特徴と授業の進め方

第2部 『ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級1-日本語初級1 大地準拠-』の構成と指導のポイント

日時：10月13日(土) 14:00-17:00 (受付開始 13:30)

会場：弘済会館 会議室「菊」(東京都千代田区麹町5-1)

対象：日本語学校、専門学校で日本語を教えている方

定員：100名(先着順。定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

#### 問合せ/申込み先

スリーエーネットワーク講座係

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラステイ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: kouza@3anet.co.jp

お申込みの際は、セミナー名(開催日)・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号・日本語教授歴を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。

## Information

### お知らせ

『みんなの日本語 初級 第2版 本冊』付属CDの音声を公開しました。

ウェブサイトから音声を聞いていただけるようになりました。ダウンロードとストリーミングを選べます。

『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』

<http://www.3anet.co.jp/ja/6510>



『みんなの日本語 初級II 第2版 本冊』

<http://www.3anet.co.jp/ja/6511>

この他にウェブサイトでも音声聞いていただける書籍一覧

[http://www.3anet.co.jp/audio\\_dl/](http://www.3anet.co.jp/audio_dl/)



#### 第7回看護・介護にかかわる外国人のための日本語スピーチコンテスト

日本の医療施設や介護現場で働く外国人が、日頃の業務の中で感じていることや、仕事について提案したいこと等について、日本語でスピーチします。観覧をご希望の方は以下URLよりお申込みください。

日時：9月29日(土) 13:30-16:30

会場：東京芸術センター 天空劇場(東京都足立区千住1-4-1)

主催：一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)

共催：独立行政法人国際交流基金

URL: <http://www.aots.jp/jp/project/nihongo/sp2018/index.html>

締切：9月26日(水)

問合せ：AOTS 日本語教育センター スピーチコンテスト係

E-mail: [thank.jitc-be@aots.jp](mailto:thank.jitc-be@aots.jp)

TEL: 03-3888-8250 (土日祝日除く)

FAX: 03-3888-8242

## Ja-Net No. 86 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2018年7月25日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラステイ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: [sales@3anet.co.jp](mailto:sales@3anet.co.jp)

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 (株)ワコー

© 2018 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第87号は2018年10月25日発行予定です。